

見 積 参 考 資 料

工事名：大元西線φ500mm～φ200mm配水管布設工事1工区(布設工の部)

- 1 本見積参考資料は、積算数量及び任意仮設の積算内容を示したもので、請負契約上の拘束力を生じるものではなく「設計図書」とはならない。

よって、工事目的物を完成させるための一切の手段については、受注者の責任において定めるものとする。

※ 見積参考資料に記載された事項は、当該工事の許容価格算出のために使用した条件であり、入札の公平性並びに円滑化を図るため示したもので、入札者の判断基準等を拘束するものではない。よって、入札者の判断基準と相違する場合であっても変更の対象としない。
ただし、現場状況等に相違が生じた場合は、監督員と協議すること。

2 設計金額の表示単位

本工事の設計金額の表示単位は、以下のとおりとする。

項 目	数値処理	単位 (円)
1. 単価表 (代価表)	小数第3位を切り捨て	小数第2位まで
2. 明細表 (内訳書)	一円未満切り捨て	円止まり
3. 直接工事費	—	円止まり
4. 処分費等控除額	一円未満切り捨て	円止まり
5. 共通仮設費積上げ分	—	円止まり
6. 共通仮設費率分	千円未満切り捨て	千円止まり
7. 共通仮設費計	百円未満切り捨て	百円止まり
8. 純工事費	—	円止まり
9. 現場管理費率分	千円未満切り捨て	千円止まり
10. 工事原価	—	円止まり
11. 一般管理費等	工事価格が万円単位になるように、万円未満を端数処理	円止まり
12. 工事価格	—	万円止まり
13. 消費税等相当額	—	円止まり
14. 請負工事費	—	円止まり

※諸雑費について

① 諸雑費に率があるものについては合計金額が、有効数字4桁になるように諸雑費率以内で端数を計上する。

② 諸雑費に率がないものについては合計金額が、有効数字4桁になるよう端数を計上する。

※施工パッケージ型積算について

① 積算単価は、有効数字4桁とし、5桁目以降を切上げる。

3 積算条件

本工事は、下記の条件で積算を行っている。

①適用単価 令和7年5月27日改定単価

※上記適用単価、積算基準書年版の詳細については以下を参照すること。

<https://www.water.okayama.jp/jigyosha/1/index.html>

②間接工事費

間接工事費の工種区分	シールド工事及び推進工事
間接工事費の施工地域区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般交通影響あり① <input type="checkbox"/> 一般交通影響あり② <input type="checkbox"/> 市街地 <input type="checkbox"/> 該当なし (補正なし)

③一般管理費等

前払金支出割合	35%を超えるもの
契約保証の方法	金銭的保証

4 資材価格等

(1) 岡山市水道工事設計資材等単価表を岡山市情報公開室 (岡山市役所本庁舎2階) にて公表しているので閲覧で確認すること。

(2) 決定単価

本工事は、下記のとおり見積りに基づき決定した価格を使用している。消費税は含まない。
現場着価格である。

名 称	規 格	単位	単価 (円)	備考
充填工	推進及び小口径推進工事 ノブリーディング 充填材	式	3,593,000	
挿入機械器具損料	φ500	式	1,710	
機械損料	ハンドクランパー C90型	日	176	
ラフペーサー	F-41	個	1,290	
ゴムシート	130×1410×t2	枚	2,960	
ラフペーサー	M36	個	3,230	
ラフペーサー	N36	個	2,710	
水圧試験用金具		式	83,700	材工共
横断歩道点字ライン撤去復旧工		m	21,400	
推進用鋼管	推進部A L=3.00m管	m	93,300	
推進機損料	ホーリング 式二重ケーシング 方式 φ700	日	178,000	
土砂バケット損料	0.5m ³	日	457	
偏芯先導管	φ700	個	4,030	
ケーシングロッド	φ700	本	3,090	
刃先本体	φ700	個	20,200	
切削ビット	8MPa 4kw	組	47,300	
止水器	推進部A φ700	組	273,000	
滑剤	推進部B	L	73	
粘土		kg	46	
増粘剤		kg	1,330	
目詰材		kg	520	
分散剤		kg	610	
発進坑口止め輪		組	264,000	
到達坑口止め輪		組	331,000	
床板材		m ³	13,000	
電話機		個	3,100	
通信用ビニル電線		m	146	
受台材質料		式	20,800	
鋼管損料	送気用	式	1,570	
換気ファン損料		式	5,850	
機械器具損料 (1)	推進部B	式	17,528,000	
機械器具損料 (2)	推進部B	式	717,000	
機械器具損料 (3)	推進部B	式	908,000	
推進用鋼管	φ700 L=1.0m	本	99,200	
メタルクラウン	φ700	個	391,000	
推進機損料	ホーリング 式一重ケーシング 方式 φ700	日	106,000	
推進機ベース・レール損料	φ700	日	8,110	
フランジリング損料	φ700	日	8,090	
ホース損料		日	1,000	
可動シールド機本体損料	φ700	日	24,200	
ゴム (ダブル) 損料	φ700	日	7,080	
可動ジャッキ損料	φ700	日	8,900	
止水器	φ700 シングル	組	128,000	
止水器	φ700 シングル (R加工)	組	160,000	
推進機損料	ホーリング 式一重ケーシング 方式 φ800	日	123,000	
推進機ベース・レール損料	φ800	日	13,500	
推進用鋼管	φ800 L=1.0m	本	113,000	
メタルクラウン	φ800	個	461,000	
フランジリング損料	φ800	日	8,550	
可動シールド機本体損料	φ800	日	27,800	
ゴム (ダブル) 損料	φ800	日	7,760	
可動ジャッキ損料	φ800	日	8,900	
止水器	φ800 シングル	組	142,000	
止水器	φ800 シングル (R加工)	組	178,000	
街路灯架空電線再利用撤去復旧工事	2か所	式	180,000	
管内カメラ調査工	事前事後各1回 1スパン 報告書作成含む	式	136,000	
先端ケーシング加工費	直刃 φ2500 t=19mm	個	40,900	
先端ケーシング加工費	直刃 φ2000 t=16mm	個	25,900	

5 その他

- ① 間接工事費の率計算対象費額に含まれる支給品費(管材費)は、93,127,600円(税抜き)としている。
- ② 土質調査費は、現場管理費及び一般管理費等の率計算の対象外とする。